

JERCO REPORT



質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。



【2019年 受賞作品 全国最優秀賞】

ひとつ屋根の下
～LDKからつながるそれぞれの時間～



株式会社ハウズドゥ リフォーム事業部

前迫 美里 さん

【巻頭カラー】 ジェルコリフォームコンテスト2019 入賞作品紹介

【年頭所感】 2020年「ジェルコのあるべき姿」とは？ 盛静男会長

【ジェルコ支部活動最前線】 近畿支部 & 中部北陸支部

【四半期アンケート調査】 第22回住宅リフォーム市場動向・景況感調査

JERCO

JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、
事業者の明るい未来を創造する

ジェルコ活動3つの柱

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



ジェルコリフォームコンテスト 2019

デザイン部門 受賞作品

全国最優秀賞
「ひとつ屋根の下
～LDKからつながるそれぞれの時間～」
(株)ハウストゥ

《審査委員講評》 築年数不詳の家が見事に蘇った。蔵の撤去により風と光の道が出来、吹抜けも活かされた。ひとつの決断が次々と難問を解決した良き例である。上質な光の北側テラス空間、家族の集まる畳、キッチンから続く南の明るいサニタリー。オープンなリビング階段。家族の居場所が出来た最優秀賞に相応しい作品である。





1 シアリングからの眺めの心地良さを把握し、リビング・ダイニングの、床下、玄関を風が抜けるように開放的(のりない)一般の空間になっている。



4 各部に梁付物を除け、畳スペースの下に収納タンスを取り付けたことで、収納力を確保した。



3 勾配天井と木目のフローリングは、床下まで繋がり、通気性に優れ通気性を確保している。



2 1.5坪とコンパクトながらも、収納力には余裕があり、「隠れ収納」にする事で自然と収納が確保になり、より暮らしやすいものになった。



住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞
「マンションでも木のある暮らし
～砧マンションリノベーション～
 (株)中島工務店・一級建築士事務所あゆみ設計工房

《審査委員講評》 一人住まいのマンションである。まず木の質感が良い。中央に洗面を含んだ収納コアという意外な要素を持ち込んだことが、空間に纏まりと広がりをもたらし、視覚的にも動線的にも心地よい空間を生み出した。桧垂木の勾配天井と小上がりのある畳スペースという要望も満たされ、施主も満足だろう。

住宅リフォーム推進協議会会長賞
「コレカラハ チェウコデスヨ」
 (株)ドクター・リフォーム・サンセイ

《審査委員講評》 廊下を排除した回遊プランと、デザインされた引き戸で仕切られる居場所からは、快適で自由な暮らしが想像出来ます。間取りの変更はさほどされていないにもかかわらず、個性あふれる設計は秀逸です。図面だけでは読み取れない生きた気配のデザインを感じました。軽量鉄骨のプレースを住み手の個性とマッチングさせたデザインにも脱帽です。



1 会話がはずむLDK



4 どこに居てもお互いを感じる空間



3 漫喫 ROOM

**最優秀賞《戸建部門》
「ひと集う場所、ひと紡ぐ場所」
（株）安藤嘉助商店**

《審査委員講評》 息吹を取り戻した古民家。様々な設えは、凛とした姿を獲得するための手法、先人の技術と現代の営みが織りなすステージの設計と言っても過言ではありません。住まいとしての日常は感じられませんが、時間を紡ぐリフォームとして高く評価できます。



**最優秀賞《マンション部門》
「介護における距離感と快適性の追求」
（株）土屋ホームトピア**

《審査委員講評》 要介護度5の母親との同居に当たって、車椅子移動と室温のバリアフリー化（断熱性向上と間仕切りの工夫）を図った。ローパーティションで全体に明るく、見通しも良く、人の気配を感じられ、暖冷房もエアコンも1台で済む。

**最優秀賞《リビングダイニング部門》
「周辺環境に合わせて間取りの軸を再設定。
敷地のポテンシャルを活かした家」
アイシン開発(株)**

《審査委員講評》 既存のポテンシャルをヒントに、水周りの移動から生まれた南北への抜け感は住み手にとって驚きの効果をもたらしたことでしょう。鉄骨造の特徴とナチュラルな木製の風合いのコントラスト生かし居心地の良い住まいのリフォームとなっています。





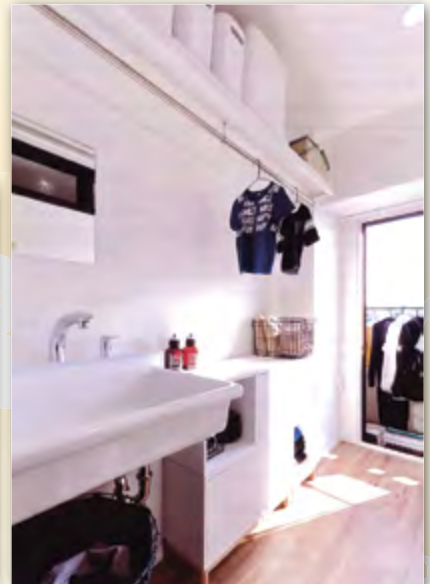
最優秀賞《キッチン部門》
「Kitchen × Bar → 豊かな食卓」
(株) OKUTA LOHAS studio デザインチーム

《審査委員講評》 キッチン部門の応募であるが、結果的にはLDK的な空間評価になったのはやむを得ない。実にシンプルな構成ではあるが、ここに友人や家族が集まって人でいっぱいになった状態が想像できる。そのようなときにこの空間は威力を発揮する。



最優秀賞《サニタリー部門》
「働くママの家事楽ユーティリティ」
(株) OKUTA LOHAS studio デザインチーム

《審査委員講評》 サニタリーを南の和室に設置したアイデアは秀逸。自由な発想が光る。掃き出し窓との隙間を作って回遊させる楽しさ。子供部屋との内窓のコミュニケーション。生活のしやすさ。明るいサニタリーは家族にとっての幸せの原点である。



最優秀賞《個室部門》
「イロドリ的人生」
(株)安江工務店

《審査委員講評》 水回り改修を機にアトリエをしつらえたもの。何といってもカラフルで、糸の美しさに圧倒される。施主が「朝起きるのが本当に楽しみで毎日、興奮しています」というのも頷ける。今は「さおり織り」製作だが、今後のライフスタイルも綿密に打合せている。





最優秀賞《外まわり部門》
「思い切りの減築で実現した光あふれるセンターコート」
 (株)アルティザン建築工房



《審査委員講評》 中古住宅購入の改修。外回り部門の応募。旧居間と書斎部分を思い切って減築して生まれたバルコニーは、夏・冬ともに効果絶大、子供たちの声が響き渡る空間。この思いもよらぬ提案に施主はびっくりし、さらに、出来てびっくり。

最優秀賞《玄関ホール部門》
「土間のこぶが美しい古民家の玄関を残しながら高齢化に備える」
 (株)育暮家ハイホームス

《審査委員講評》 素晴らしいの一言。古民家の美しい土間のこぶをよくぞ活かしてくれた。古いものと新しいものが融和している。格子の内窓、縦長スリットから漏れるあたたかな灯り、流れる豊かな梁、全部合わさって穏やかな波長が流れている。



JERCO Reform Contest



《ユーザーフォト部門》
最優秀賞
「キッチンのママとなかよく御勉強」
 (株) OKUTA

ジェルコリフォームコンテスト 2019 ビジネスモデル部門 受賞作品

経済産業大臣賞
《将来性・波及性分野》
（株）キッチンワークス

《審査委員講評》 廃業する木工所の木工機械を購入し、事務所1階を家具工場とし、収納家具提案の設計・制作・取付をリフォーム工事と合わせて実施。リフォーム提案と収納家具提案を同時に行うことにより、ユーザーの収納の悩みを解決することにより、差別化。自社のオーダーメイド収納棚のカット及び組立を事前に行っているため、工期を短縮し生産性をあげている。と同時に現場加工作業が減るため工事中の騒音・振動・粉塵の発生を抑えることができ、消費者のストレス軽減・近隣への迷惑軽減が図られている。これにより、3年間で、売上は倍以上となり、お客様の満足向上と単価のアップを同時に実現したことを評価。

経済産業省製造産業局長賞
《社会的課題解決分野》
SFA Japan (株)

《審査委員講評》 SFA ポンプ（排水圧送）を使うことにより、今まで配管のなかったところにも簡単にトイレ等を設置することができ、要介護者はもちろん介護の負担を減らすことができ、高齢社会での課題解決を評価。これ以外にも店舗・公共施設など、配管のないところでも活用できる。

経済産業省製造産業局長賞
《新規性・独自性分野》
（一社）住宅産業先端技術革新協議会

《審査委員講評》 床下点検診断ロボット「モーグル」により、床下の点検を自動化。見えない部分の事前調査により、防蟻・断熱・湿気対策等の提案が、簡単になり、人材不足を解消し、良質な中古流通の拡大にも寄与。また、認定制度を運営し、波及性にも尽力をしている。住宅の施工点検、維持管理にITを活用し、業務の効率化を図りながら消費者の信頼獲得と中古住宅の流通拡大に寄与することを評価。

ジェルコ会長賞
《新規性・独自性分野》
（株）テオリアハウスクリニック

《審査委員講評》 人材難の中で、防蟻を中心とした床下業務（KSK = 暗い、狭い、汚い）をブランディングし、女性の新卒採用、断熱・住宅診断事業の新事業の立ち上げなど会社自体もモデルチェンジを図った。また中身を作るために研修所の立ち上げを実施し、多能工を育成。床下関連施工のワンストップを目指して、売上の拡大に成功したことを評価。

ジェルコ会長賞
《将来性・波及性分野》
（株）OKUTA

《審査委員講評》 中古住宅購入者に対して建築事業者の立場で、物件の点検を無料で購入者の立場に立って、アドバイスや価格交渉を行う。これにより、購入者の中古住宅に対する不安を払しょくし、中古住宅の流通を促進する効果を上げたことを評価。



イベントレポート

全国からの出展 497 作品の頂点が決定 JERCO Reform Contest ジェルコリフォームコンテスト 2019



一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）は11月20日、ジェルコリフォームコンテスト2019の表彰式を東京・新宿の京王プラザホテルにて開催した。

今年の各部門の応募作品数は、デザイン部門が497点、ビジネスモデル部門が21社、また、新たな部門として昨年からスタートしたユーザーフォト部門には、50点の応募作品が集まった。

表彰式では全国最優秀賞1作品、（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞1作品、（一社）住宅リフォーム推進協議会会長賞1作品、全国部門別最優秀賞8作品のほか、全国部門別優秀賞や全国特別賞など30作品がそれぞれ表彰された。また、ビジネスモデル部門の経済産業大臣賞を含む入賞5作品、ユーザーフォト部門の入賞10作品も併せて表彰された。

表彰式の冒頭では盛会長が「表彰作品を拝見しましたが、どの作品もいずれ劣らぬ出来栄で、

全国のリフォーム事業者のスキルが本当に拮抗していると実感しました」と挨拶を述べた。

来賓挨拶では、国土交通省住宅局住宅生産課住宅瑕疵担保対策室の川合紀子室長が「今回のコンテストを通じて良質なリフォームで人々の生活をより良く変えていく魅力や意義が世の中で広く共有されていくよう期待しています」と挨拶を述べた。続いて、経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室の縄田俊之室長は「四半世紀を超えて開催されてきたこのコンテストがリフォーム産業活性化の礎となることを期待しております」と挨拶を述べた。

表彰式典では、デザイン部門、ビジネスモデル部門、ユーザーフォト部門の順に表彰が行われた。続いて、デザイン部門とビジネスモデル部門の上位入賞者によるプレゼンテーションが行われたほか、審査委員長講評と審査員によるトークショーも行われ、盛況のうちに表彰式は幕を閉じた。

ジェルコリフォームコンテスト 2019

デザイン部門 上位3賞 受賞者の声



全国最優秀賞
(株)ハウスドゥ
前迫美里さん

最優秀賞を取ることを目標のひとつにしておりましたので、大変うれしく思っております。今回のリフォームは、お施主様より当初から時間がかかって、こだわって決めていきたいと言って頂き、細部にいたるまで、妥協せず打合せを行うことができました。その結果、お客様から、「ああしておけば良かった」と思うところは一つもないよ」と言って頂きました。

リフォームは時間をかければ良いものが出来て当然ですが、時間をかけてもうまくいかないケースもあると思います。いかに効率的に効果的なプレゼンテーションや打合せができるかが、双方にとって重要なことです。“選ぶことは苦痛”ではなく、選ぶ楽しみを感じながら打合せをし、より多くのお客様が快適に過ごせる住まい作りができるよう今後も工夫を重ねていきたいと思っております。



(公財) 住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞

(株)中島工務店・一級建築士事務所あゆみ設計工房

中島創造さん
中島あゆみさん

このたびは栄えある賞を頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいです。今回のリフォームではマンションでも木の家に住んでいるような空間を実現し、夢だった「船底天井がある空間」で、これまで同

じく「豊のある暮らし」をしながら、既存住宅での収納しきれない物がある生活を変えるべく、「十分な収納スペース」を確保するという要望を満たすプランを検討いたしました。

今後も私共の取り組む家づくりで大切にしている、「事前調査」、「室内環境の向上」、「ものづくりを通して都市と山村をつなぐ」、「追跡調査」の4本柱をベースに、引き渡し後の暮らしがスタートしたあとも、住まい手さんにとって最良のリノベーションだったと感じて貰えるものづくりを続けていきたいと思っております。



(一社) 住宅リフォーム推進協議会会長賞

(株)ドクターリフォーム・サンセイ

吉澤孝之さん
中村忍さん
山口弘人さん

デザインだけでなく、お客様との関係性も高く評価頂いたことを、嬉しく感じます。今回のリフォームでは、私達のアドバイスで、お客様が即時中古物件の購入を決めてくださった事。そして完成時にパーティーにお招きいただき、屋上ガーデンスペースで、ジャグジーにお客様と一緒に入ったことがとても印象に残っています。

リフォームに対しては、本当に必要なコスト・本質を捉え、人として誠実であると思える提案を行う事を常に心掛けています。また、お客様から選ばれることが存在価値だと思っておりますので、選ばれ続けるためにも、これまでの実績に甘えることなく、今後も挑戦を続けていきます。

将来的には、建築・リフォームの枠を超え、クリエイティブに本質的な空間プロデュース提案ができる集団へと変化していきたいと思っております。

JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

CONTENTS

No.282 2020年 リニューアル第30号

ジェルコリフォームコンテスト デザイン部門 最優秀作(12作品)と受賞者の言葉	3
CONTENTS / 巻頭コラム	11
会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ	12
全国8支部長 & 3委員長 年頭所感	14
ジェルコ支部活動最前線 ①近畿支部	20
②中部北陸支部	22
2・3・4種会員PRコーナー	24
ジェルコリフォームコンテスト2019 審査員講評・パネルディスカッション	26
ジェルコリフォームコンテスト2019 デザイン部門 審査講評	30
よろしくお祈いします! 新事務局員紹介	34
ジェルコリフォーム実態調査 / アンケート調査	35
支部インフォメーション Topics & Event	38
新入会員紹介	40

■□■ 巻頭コラム 「第1回デザインコンテスト全国大会審査会と高橋公子審査委員長」

私がジェルコで最初にした仕事は第1回デザインコンテスト全国大会審査会の立会いでした。

当時の本部事務局は日暮里(東京都荒川区)にあり、1993年9月24日に行われました。応募総数は現在の半分くらいの266点で、審査員は今と同じ3名で、審査委員長が高橋公子先生(日本女子大学教授・工学博士)、審査員は小野隆先生、中川真理先生でした。当時の私は高橋先生がどのくらい偉大な先生かは全く意識がないまま、気楽に審査風景を眺めていました。

高橋先生が教鞭に立たれていたのは日本女子大学の住居学科で、今もそうですが住居学科は建築学部ではなく家政学部(に所属しています。家政学部は他に食物、被服学科等があり、生活のメインとなる衣食住を研究するもので、「住宅を設計することは生

活を設計することと同義。」と生前の先生を綴った「時間の中で住まい(彰国社)」に記載されています。そのため、ハード、デザイン一辺倒でなく、暮らしと住宅の結びつきを重視されてきました。

さて、第1回目の審査会ですが全国最優秀賞決定する際、圧倒的に応募の多かったキッチンやリビング・ダイニング部門でなく数点しか応募のなかったエクステリアから選出されることになりました。全体を配慮されて「第1回目がエクステリアで大丈夫かしら」と少々気にされていました。なお、高橋先生は1997年65歳の若さで亡くなりました。

今年(2019年)も9月に27回目の審査会があり、私ごとですが入社27年目を自覚することが出来ました。

(関東甲信越支部 米光一朗)



会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ

ジェルコリフォームの構築・運用と交流を強化



一般社団法人
日本住宅リフォーム産業協会

会長 盛 静 男

令和2年、あけましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年のお目玉は、なんとといってもオリンピック・パラリンピック開催ですね！

近代オリンピックの創始者クーベルタンが提唱した、「オリンピックのあるべき姿」とは、「スポーツを通して心身を向上させ、さらに文化・国籍などさまざまな差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」というものです。

「ジェルコのあるべき姿」とは、リフォーム事業を通して、すべての会員が質の高いリフォーム事業者として人生100年時代における生活者の安心と豊かさを支え社会貢献を果たすこと。ジェルコ活動は、質の高いリフォームが出来る事業者の育成。そして、リフォーム業界で働く人々の働きがいや生きがいや心の豊かさを享受できる業界に発展させるミッションを

担うものと考えます。

定時総会で発表させて頂きました、「ジェルコビジョン2030」は、ジェルコ会員・全国のリフォーム事業者に向けたメッセージであり、リフォーム現場で働く人々の働きがいや生きがいや心の豊かさを享受できる業界に発展させたい想いとジェルコ会員としての誓いのような思いが込められています。また、この激変のリフォーム業界の今後10年の道しるべとなるよう願っております。

■ジェルコビジョン2030スローガン■

1.ジェルコ会員と全国のリフォーム事業者へのメッセージ

「質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する」

・リフォーム事業者のやるべきことは、質の高いリフォームを提供し続けること。そして、そ

の先に見えてくるものが事業者の明るい未来である。

2.生活者へのメッセージ

「リフォームで家が変わると暮らしが変わる」

・質の高いリフォームと空間デザインを加えることで「家が変わる」そして、そこで暮らす人々の「暮らしが変わる」

■ 2020年度（第12期）主な活動 ■

1.ジェルコリフォームブランド「ジェルコリフォーム」構築・運用

- ・リフォームを検討している人の不安に「業者選び・施工品質・金額が適正」？
- ・ここを払拭させるシステムを構築させジェルコブランドに育てる。
- ・リフォームを分類分けして、其々に管理技術者（スペシャリスト）を養成（研修・試験・登録・更新）したい。

2.女性交流会「ジェルこまち」と全国支部間交流の場を広げる。

- ・リフォーム現場で働く女性の職場づくり研究。
- ・ジェルコの魅力は何とんでも「人の交流」全国の優良事業者との交流。

3.働き方改革に伴うJERCOみんなのミカタ制度GLTD（団体長期障害所得補償保険）を会員・協力事業者へ周知する。

- ・リフォーム現場で働く社員・職人が安心して働ける環境づくりを応援。

4.会員増強活動

- ・志を同じとする全国のリフォーム事業者を迎え入れる活動。

ジェルコ活動3つの柱
しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



5.安心R住宅の推進

- ・国の進める、空家活用、中古住宅流通、資産価値向上の為の施策を推進することは、ジェルコのミッションである。

6.事業創造PJ

- ・ジェルコ存続の為、新事業開発に着手。ジェルコの稼ぐ術を構築させていく。

7.ホームページリニューアル

- ・ジェルコビジョン2030を見据えたホームページに改定する
- ・「ジェルコリフォーム」「コレカラ」の窓口充実と会員の為のHPに改定。

各委員会の皆様には、ジェルコビジョン2030に沿った事業計画を作成して頂きその事業計画を着実に進めていきたいと思っておりますので今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

ジェルコ会員の皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありますよう、心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

ジェルコ・全国8支部長からの

2020年新春メッセージ

一昨年の六月に北海道支部長を仰せつかって一年半が経ちました。未だ何をやっているのか手探りで、支部会員の為に本当に役立っているのか心配です。ただ、振り返ってみるとジェルコの事を考え、行動しているという時間が結構あるのに気付かされます。

昨年は何と言ってもジェルコビジョン2030が完成して、同じ方向を示したベクトルで、ますます前進して行くジェルコを感じました。

本部での活動は全国会員の明るい未来を創造することに心掛けていく。北海道支部では支部会員の結束を図り、その向こうに明るい未来を創造するように頑張りたいと思います。

全国各支部の皆様、北海道は良いところです。来てみるとそう遠くないですよ。ぜひ、いらしてください。交流を深めましょう。



北海道支部長 新谷 孝秀

新年明けましておめでとうございます。

昨年は支部事務局の度重なる入れ替わり等、東北支部にとって大変な一年となりましたが、本部事務局の支援及び役員の皆様のおかげで何とか良い年を迎える事ができました。

支部長改選の時期となり私の任期も残り僅かとなりましたが、昨年末の支部役員会にて無事に来年度からの時期支部長も決まり、2020年1月28日（火）支部役員会、民法改正セミナー&断熱リフォームセミナー、リフォームコンテスト支部表彰式の開催から東北支部の新年の事業が始まります。

皆様にご協力いただきながら、精一杯本年度残りの事業を推進していきたいと思っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



東北支部長 菊地 智彦

あけましておめでとうございます。昨年は平成から令和へ元号が変わるといふ明るい話題の大きな節目の年でしたが、残念ながら大きな災害にも見舞われました。また、消費増税が実施され、景気の趨勢を見極めるには非常に難しい、そんな一年でした。

時代の大きな変化の潮流はこの業界においてもじわりと深度を深めております。これまでとは違った価値観の醸成がなされているようではありません。そんな中ジェルコは盛会長の元『事業者の明るい未来を創造する』『ジェルコビジョン2030』が高らかに示されました。不確実性の先行きに一つの光明となるべくこれから先の10年の羅針盤です。ここにはジェルコ創生のDNAと30余年の歴史の中で築かれた地域密着・顧客密着の生活者目線のリフォーム業者のノウハウと原点があるように感じます。ビジョンと合わせ示されたジェルコリフォームはこれからのリフォームスタンダードを創造する大変画期的なものになると感じます。後にこれがリフォーム新時代の幕開けになった言われるかもしれません。

ジェルコ会員はこの大きなチャンスを活かさなければ損だと思えます。何をしてもらうかではなく何が出来るのか？

ジェルコも“新時代へ”邁進です。前へ！前へ！



関東甲信越支部 望月俊彦

ジェルコ中部北陸支部は2020年をどのような年にしようかと考えた時、会員へ「ジェルコを活用する意義の浸透」を推進していく事が最も重要なのではないかと感じ、それを叶えることが当支部が抱える問題点となっている会員数の増加と退会防止の二点へ副次的な作用がもたらされるものと思いました。

中部北陸支部はジェルコが生まれた当初からデザインコンテストをはじめ、全国をけん引するリーディングカンパニーの方々を先頭に盛り上がりを見せてきました。しかしその企業がもつ先進的なリフォームリノベーションの英知に追隨できる後続企業のボトムアップがまた同時に必要となっていて、最先端の事もやらなくてはならない、当たり前のようにできなければならない、と非常に悩ましい支部運営を担っていることを実感しています。

情報交換の場だけに留まらず、切磋琢磨できる「ライバル」「戦友」と呼べるような企業を増やしていくべく、本年は「ジェルコを活用する意義の浸透」を目的として中部北陸支部を運営してまいります。



中部北陸支部長 太田信吾

年 頭 所 感

新年明けまして、おめでとうございます。

ジェルコ近畿支部は、2020年2月4日（火）の定例会から新年の事業が始まります。今年も「入って良かったジェルコ！」をスローガンに、3月4日に開催される九州・中四国・近畿による3支部合同の交流会や、その後の定例会での勉強会、セミナーなど、経営者・スタッフさんなども含め、会員の皆様にとってメリットのあるような事業を推進していきたいと思えます。

ジェルコ全体としても住宅リフォーム事業者団体登録、安心R住宅事業者登録を始め、ジェルコ会員限定のお得な建設工事保険「ジェルコ総合補償制度」や、社員や職人さんの福利厚生としても利用頂ける「ジェルコ団体長期障害所得補償」など様々な制度も出来ており、支部会員さんに使っていただけるよう、個別に説明する場なども予定していきますので是非お声がけください。

本年も皆様にご協力を頂きながら、支部活動を進めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



近畿支部長 矢島一

中国四国支部の支部長を務めさせて頂き、今年で2年目になります。昨年は右も左も分からず、事務局の多尾田さん、副支部長の皆さんにご協力をいただき何とか1年間活動する事が出来ました。感謝申し上げます。

支部では毎年、年末に四国ブロック会と合同で忘年会を行っております。昨年も各会社の取り組み（広告チラシやホームページ、ノウハウ等）発表や成功例、悩み事などをざっくばらんに語り合いました。「ジェルコっていいな」と感じられる瞬間でした。

昨年は本部・盛会長が2030年ビジョンを発表され、それに向け各委員会や運営委員会で議論をした、準備期間だったような気がします。今年はその成果が発揮される年になるかと思えます。一方で、本部で発表された情報や取り組みが、支部の皆様伝わっていない事もありますので、今年はしっかりとお伝えしたいと思います。本部副会長をされている夕部さんが取り組まれている「ジェルこまち」は、リフォーム業界で必要な女性たちの集まりです。今年は支部でも開催したいと考えております。

最後となりますが、中国四国支部は今まで通り何でも言い合える間柄で取り組みたいと思っておりますので、今後共どうぞよろしく宜しくお願いいたします。



中国四国支部長 田中健太郎

新年明けましておめでとうございます。

九州支部では、昨年初めてジェルコ九州支部賀詞交歓会を開催しました。とても好評で、今年も開催予定です。それも、関東甲信越支部中野副支部長より、関東では、毎年やっていて、とても良いですよとアドバイスを頂き試みました。ジェルコの素晴らしさは、そうやって地域関係なしに、心に触れ、良い所を学ばせて頂く事が、大事なな～と思います。

また、日頃より、メーカー様や関連企業様には、ジェルコ九州支部に大変な応援、協力を頂き、感謝申し上げます。本年の活動も沢山の学びやジェルコ知名度アップなど行事を組んでおります。そんな中での、一番頑張っているのが、田籠分会長です。福岡県を中心に九州各地の補助金セミナーです。年明け福岡県8会場、熊本市、でそれぞれ1月、2月で開催予定です、福岡県、福岡建築住宅センターの後援も取れました。それと、昨年7月に発足したジェルこまち（女子力）を受けて、野田九州委員長が、今年3月4日、3支部交流会、翌日3月5日に、福岡県大川市で、勉強会、ランチと張り切っています。

今年一年も楽しく学び、ジェルコ九州支部を盛り上げて皆様一緒に成長していきます。



九州支部長 鈴木 茂

皆様 新年あけましておめでとうございます。

昨年は沖縄のシンボルの世界遺産にも登録された首里城の正殿、北殿、南殿が全焼するという沖縄県民として非常に残念で計り知れない事が起こりました。またジェルコ沖縄支部としても、正会員様の退会やこれまで沖縄支部を支えて頂いた事務局が今期限りの3月末で退会するという事もありましたが、幸い事務局は4月からは、別の会員様が引き受けて下さる事になり助かりました。

沖縄支部の今年のスローガンは「ジェルコに入ってよかった」と言っていただけの会にしていきます。会員の皆様に役立つセミナーや勉強会実施や会員様限定の建設工事保険「ジェルコ総合保障制度企業で働く従業員、役員の方が病気・ケガで働けなくなってしまう場合に一定の収入を約束する制度「ジェルコみんなのミカタ保険を支部会員様に進めていく予定です。

本年も盛会長をはじめ押部専務、相馬事務局長や役員様のお力をお借りしながら支部活動の活性化に向けて推し進めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



沖縄支部長 中本 益也

ジェルコ・全国8支部長からの

2020年新春メッセージ

ジェルコ会員の皆様、明けましておめでとうございます。
性能アカデミー委員長の今井です。昨年中は、皆様にたくさんのご支援をいただき、なんとか取り組んできたものが芽が出始めてきました。

皆様にご報告があります。国交省より2つの補助金を獲得することが出来ました。

1つは、性能向上のリフォームに取り組み、資産価値を上げたものに、補助がつきます。これまでは、資産価値はリフォームをしても建物にはなかなかつかないものでしたが、長寿命普及協会様とのコラボレーションにより、ちゃんと性能向上リフォームにしたものには資産価値をつけて、それを担保にローンも組めるようにするという新しい企画です。

2つ目は、売却の窓口様とのコラボレーションで、会員さんのOB客の資産売却などをお手伝いし、会員企業様の新しい需要の喚起に努めたいと思っております。

しかし補助金は、取得する事が目的になることが多く、本来、会員企業の皆様がビジネスにプラスになるようにそこまでを考えていかないといけないと思っております。

今年は、またジェルコリフォームの確立で講習会なども計画して参りますので是非、ご参加いただければと思います。



性能アカデミー委員会
今井 猛 委員長

明けましておめでとうございます。

2010年代は、人口減少、少子高齢化、空き家の増大などの社会問題が顕在化し、住宅産業においては従来の新築中心の「スクラップ&ビルド」の考え方から、既存の住宅ストックを最大限活用することが重要な課題として取り上げられ、住生活基本法をもとに「中古住宅・リフォームトータルプラン」が取りまとめられるなど、住宅政策も新築からリフォームへ

大きくシフトしてきました。

ジェルコではこのような追い風を受け、会員数も500を超え、業界のオピニオンリーダーとしても存在感を増してきた10年だったと思います。

2020年代は一体どのような時代になっていくのでしょうか。昨年ジェルコは盛会長を中心にジェルコビジョン2030を打ち出し、2030年を見据えた活動をして行くことが宣言され、今年は「会員・支部・本部一体となった活動へ」をテーマにしています。

体制整備委員会としても、このテーマの実現のため、会員のための活動を進めていく所存ですので、本年もどうぞよろしく願いいたします。



体制整備委員会
森山 秀夫 委員長

ジェルコ会員の皆様、広報渉外委員会委員長の熊谷です。

令和二年、盛会長体制の元、試行錯誤の1年目。何とか慣れてきた2年目を経て、結果を残すべく3年を迎える事となりました。

我が委員会は、①リフォームコンテスト、②ホームページ、③コレカラのミッションで、「リフォームコンテスト」につきましては昨年11月の全国表彰式でデザイン・ビジネスモデル、ユーザーフォト部門共々前回の応募数を上回り、デザイン部門に於いては今迄のビジュアル優先から機能や使い勝手が注目を集める傾向が伺えた事に依り、今回はその旨を会員皆様に幅広く伝え、更に多くの申込を募りたいと思います。

ホームページにつきましては、ジェルコ創業以来初めてのフルリニューアルとなり、昨年11月には制作会社の選定も済み、現段階はサイトアップの整理をしており、4月1日のオープンを目指しております。

「コレカラ」につきましては、思う様な成果が上げられておりません。昨年末にリニューアルしたチラシ並びにリニューアルするホームページの相乗効果と定期的にチラシを建築建設団体の窓口、主要都市の行政窓口配布、検討、実施してまいります。



広報渉外委員会
熊谷 和樹 委員長

= 近畿支部 =

ジェルコリフォームコンテスト近畿大会

共催の「ジェルこまち」ではパネルディスカッションも



受賞者の全てが女性だった今年のジェルコリフォームコンテスト近畿大会

ジェルコ近畿支部では2019年12月12日に例年開催の、ジェルコリフォームコンテスト近畿大会表彰式を開催。毎年、たくさんのジェルコ会員のスタッフ・社員の方々に参加してもらえるよう、基調講演に招く講師の人選も近畿支部役員が趣向を凝らして行っている。今回は、通常の設定例とは異なり、受賞者・スタッフを含め、たくさんの女性が参加。参加者は75名に達し、会場をいっぱい埋め尽くすことができた。

恒例の表彰式では、審査委員長の(株)コラムデザインセンター代表・芸術博士の宮後浩氏を始め、審査員の(株)コンパス建築工房代表の西濱浩次氏、シーズプランニング

級建築士事務所代表建築士の新治照美氏を招き、表彰状の授与や総評などをお願いした。

今年は全ての受賞者が女性。また、例年にも増して良い作品が多く、上位受賞者のプレゼンも素晴らしいものとなっており、審査員の方々の講評、総評でも良い評価をいただくことができた。

基調講演では、フジテレビ系「セブンルール」にも出演されたほか、メディアでも大活躍の(株)夏水組の坂田夏水氏が登壇。「現代女性とインテリアマーケット」をテーマに、カスタマイズとDIYマーケットに関する話題やオーダーメイド賃貸などに関する



受賞者には表彰状と記念品が贈呈された



表彰式の後に行われた上位受賞者によるプレゼン



「ジェルこまち」でのパネルディスカッションの様子（写真左から坂田氏、主森氏、田崎氏、夕部氏）

最新のマーケット情報、今の消費者はどこから情報を得てどのように思考しているのかなど、女性ならではの目線で講演いただき、参加者からも「違った視点からの目線がすごく参考になった」など、男女問わず、勉強になったと言うご意見を多数頂いた。

また、近畿支部事業として共催した、「ジェルこまち」においても、女性として実際に実務に携わっておられる、神戸の(有)ミオ・デザイン代表の主森氏（ジェルコ近畿副支部長）、高知の(株)光テックの夕部氏（ジェルコ副会長）、長崎の YUMIKO TASAKI DESIGN ROOM 主催の田崎氏と、基調講演をお願いした夏水組の坂田氏による「リ

フォーム&デザイン&インテリアデザインそしてDIYの世界にも」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。こちらも、女性目線ならではの提案方法や考え方の話題が多数出てきて、参加した女性受賞者の方々からも、「質問に本音で答えていただき本当に良かった」という感想をいただくなど、とても勉強になった様子だった。

パネルディスカッション終了後に開催された忘年会・懇親会には、審査員や講師の方々にも参加頂き、阪急梅田本店「シャンデリアテーブル」にて、たくさんのお酒と食べ物を頂きながら立場に関係無く、様々な方々との交流を深め、盛会となった。

＝ 中部北陸 支部 ＝

中部北陸支部デザインコンテストを開催

休憩時間には話題のスイーツを「ジェルコカフェ」で提供



受賞を喜ぶ中部北陸支部会員の皆さんと支部役員

ジェルコ中部北陸支部では2019年12月12日、支部役員会および中部北陸支部デザインコンテスト表彰式をTOTO名古屋ショールームで開催した。

支部役員会は午前11時にスタートし、太田支部長の挨拶の後、議事に移った。議事では前回役員会の議事録確認や理事会報告、各委員会報告などが行われたほか、討議事項として同日午後開催される表彰式・セミナーの件、3月開催予定のセミナーの件、6月開催予定の支部大会の検討、ジェルコのほりの件、会員状況の件などについて話し合いがなされた。

午後2時から中部北陸支部デザインコ

ンテスト表彰式および作品講評セミナーがスタート。今回、作品の審査は名古屋工業大学准教授の伊藤孝紀氏を招いて行われた。

伊藤孝紀氏は1974年生まれの三重県出身。(有)タイプエービーを主宰する傍ら、多くのメディアにも取り上げられるとともに、自身の作品も数多くのコンテストでも受賞。行政・企業・市民を巻き込んで、社会世界に向け活発に活躍している。

表彰式では、応募作品をメーカー賞、敢闘賞、特別賞、優秀賞、最優秀賞に分け、プレゼンターを務める太田支部長から表彰状と記念品が贈呈された。

表彰式に続いて、部門別最優秀賞4作品



部門別最優秀賞4作品の受賞者によるプレゼン



ジェルコカフェで振舞われたキュイットのチーズタルト



作成者との対話形式で行われた伊藤氏による講評



アフタージェルコでは鏡割りも行われた

の受賞者による作品のプレゼンを行った後、休憩となった。休憩中には4作品の中から中部北陸支部グランプリを選出するため参会者による投票が行われた。

休憩時間には『ジェルコカフェ』と名付けられたスイーツタイムが設けられており、名古屋で話題のキュイットのチーズタルトとハーゲンダッツのアイス、コーヒー、紅茶を用意。これは女性デザイナーが多く参加する12月のセミナーに合わせて企画されたもので、展示作品を眺めながらスイーツを楽しみ、休憩時間を過ごせるようになっている。

投票結果の発表では、(株)育暮家ハイホームスの小坂橋直樹氏による「居場所を移し

て暖かく健康的なついの住処づくり」がグランプリに選出され、表彰式が行われた。

表彰式後は伊藤孝紀氏による講評が行われた。伊藤氏は作品の選定ポイントやアドバイスなどについて、作成者と1対1の対話形式で講評。この形式は作成者本人にとってとても参考になるばかりでなく、参加者にとっても非常に勉強になる内容となっている。今回の講評では、本部のコンテストに選定されなかった作品を中心に選定し、本部と違う観点から作品を評価してもらうことで、作品の良さが大いに引き出された。

表彰式終了後には、アフタージェルコの懇親会、最優秀賞受賞者で鏡割りを行った。

2・3・4種会員PRコーナー

2・3・4種会員の皆様に自社のPRをして頂くコーナーを作りました。

PR内容は第1種会員を始め、自社以外の全ての会員様に自社の活動・売りたい商品（個人ベースでも可）を認知頂く主旨で開設致しました。

2・3・4種会員を1回のレポートで5～6社紹介させていただきます。約100社登録頂いていますので年3回として5年に1回廻る計算です。尚順番はジェルコ会員登録順にお声掛けしています。

同じ仲間として是非お目通し願います。



導入企業様続々!
リフォーム提案!

誰でも使える!

リフォームプラン 見積り作成に革命

スピード提案 業務効率アップ

もう見積りに時間をかけない!
リフォームシミュレーターで劇的に改善!

ワンタッチで見積書と
プランシートをその場で作成

いますぐ
体験デモへ!

<https://try.ie-pro.net/>

IEプロ 検索

※お手持ちのPC・タブレットでアクセスできます。

詳しくはお問い合わせください

株式会社 リフィード TEL:092-717-7007(代)
〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-3-3-4F <http://www.re-feed.jp/>

リフォーム玄関ドア・引戸、アパートドア

NOVARIS

ノバリスシリーズ



1日で見違える エントランスへ変身!



ドアをロックしたままで
換気ができる採風ドア

三協アルミ



2枚引き込み引戸なら
車椅子・自転車もラクラク

社員も、社長も、納得する『新しい賃金制度』をつくりましょう。

- 東京/神奈川/埼玉/千葉 限定で導入希望会社様募集中！
- 社員数20名以下の会社様にオススメです。

【新賃金制度のネライ】

- ・社員が納得安心し、人生将来像を描けるような会社にしましょ。
- ・5年、10年後まで見通せる「賃金表」を策定し社員の不安を払拭します。
- ・諸手当を整理整頓し、支給目的・支給額を明確にします。
- ・基本給を「年齢給+評価給」の構成にして人事考課を簡素化します。



貴社独自の賃金制度の策定

Excel 自動プログラムのご提供

リフォーム経営戦略研究所 (有)リフォ・レ 所長 佐藤 治

お問合せ：refor-le@r4.dion.ne.jp

工務店経営についてより深く知りたい方へ

試読からはじめてみませんか??

3回分を無料で
お送りします!



新建ハウジング
ATHE SHINKEN HOUSING



新建ハウジング 試し読み 検索

お問合せ 新建ハウジング 読者サービスチーム ☎0120-47-4341

■ ジェルコからのお知らせ ■

みんなのミカタ施工協力会員用プラン開始!

(団体長期傷害所得補償の職人さん向けプランです)

◇ 特徴 ◇

- ① 当補償はジェルコ会員だけ。
- ② 90日後から支給開始
- ③ 掛金は個人で入るよりとても安価

※1種会員様の入会が前提です。

詳しくは、
(株)TMエージェントサービスまで
電話：025-378-3775

ジェルコリフォームコンテスト2019 審査員講評・パネルディスカッション

今回のコンテスト表彰式では、初の試みとしてデザイン部門、ビジネス部門の審査員の先生方がパネルディスカッション形式で作品講評を行った。今社会が大きく変化する中で、リフォームの新たな理念、傾向などを語り合った。デザイン部門の上杉委員長、玉井、江口委員、ビジネスモデル部門の坂本委員長、奥田、安達委員の話をもとめた

□デザイン部門

「美しさ」だけから大きく変わりはじめた作品傾向

上杉 入賞おめでとうございます。応募数が約500で入賞が40作品ですから、約12倍のきびしい競争でした。受験風に言うと合格率8%です。全体が非常にレベルが高い中でのかなりの難しいコンテストであったということだと思います。構造と法規のチェックをしてくださった佐久間先生も初めて参加されて、こんなにレベルが高いとは思わなかったとビックリされていました。

次に、今年のキーワードは「生活」です。これは審査が終わった後に委員で話し合ったことです。「珍しさより実用的で安らぐ暮らし」というタイトルの作品がありました。タイトルで入選したわけではないのですが、図らずも我々審査員の審査ポリシーをよく表わしていました。

生活に則ったリフォーム、生活に寄り添うリフォームという形で応募されたものがかなり入選されています。人々の生活は多様ですから、単身での暮らし、三世代・四世代で暮らす、コンバージョンして暮らす、古い民家に暮らす、民宿をする、さらには人生の変化に沿ってのリフォームというような、様々な生活に対し、それぞれに丁寧に対応するという作品が多かったし、そういうものが入選したと思います。

それは従来の設計事務所等の「美しくきれいなリフォーム」というのではない。「デザイン」とか「作品」というものでもない。奇を衒わない。素直に住んでいる人の要求を聞いて、その人の暮らしを表わす、あるいは暮らす場所を表わすようなものが評価されたということです。

ただし、住んでいる人の言うことをただ聞いていればいい作品になるかという絶対にはではなくて、プロとしてのプラスαが必要です。プラスαがリフォームの基本であるということです。αは創造性の核で、従来のものだけではできないということです。住人の使い方の知恵だったり、設計の専門的な技術だったり、減築だったり、施主の思ってもいなかったアイデアを付け加えることによって全く新しい世界が生まれるのです。



審査委員長 上杉啓氏

その他としては、去年あたりから外回りで非常にいい作品が出てきました。今年もいい作品が多かった。従来取り上げられなかった部分に目が向いてきた。

マンションでも、限られた空間の中でのリフォームながら、機能を満足するリフォームから

楽しむリフォーム、ゆとりのリフォームへと変わってきたという感じがします。

最後に、我々が審査終了後話し合ったのは、これからはエシカルな問題、あるいは、SDGs（エス・ディー・ジーズ）、この問題が入ってくるだろう。エシカル（倫理的な）という問題については江口先生が詳しくおっしゃると思います。

いずれにしても、こういう単語が出てきたというのは、材料と仕様は正しいか、あるいは労働の使い方は正しいかとか、環境に配慮しているかなどがリフォームにおいても新たな問題として出てきたと言うことで。サステナブルな資源利用もこのエシカルという言葉の中に含まれますから、これからはリフォームにおける生産の在り方が問われる時代になると思います。

玉井 住み手に寄り添うというデザインについて上杉先生からもありましたが、社会的な動向もあり、応募作品も変わってきたという印象があります。私も設計活動をずっとしてきたと思う事ですが、今回は作品が商品売るというスタンスから離れて、住み手にとって特別なものというが出てきているのじゃないかなと思います。そこには時間軸があって、どういう風なものを受け継いでいくか、紡いでいくかということ、皆さん真剣に考えてきている気がします。



まず、ドクターリフォームサンセイさんの作品は、改装前とそんなにプランニングは変わっていません。どういう事かという、生活というのが何処にあるのか、それをどういう風に作っていくかというのがリフォームでは最も大事で、それが住み手にとってどういう繋がりとなるのか——それが生きた気配のデザインですが、これがとても感じられました。

安藤嘉助商店さんの作品は、非常に良くデザインができています。外観も含めて中古の古民家を買われて、住



審査委員 玉井清氏

みながら民泊を始めたり、趣味の陶芸等もされている。人の手が加わるとこんなにも気配というか、居場所というか、ぬくもりが出てくるんだなあという事例です。だから働き甲斐という事であれば、こういうリノベーションの方法も出てくる。

この作品のキーワードは「時間を紡ぐリフォーム」。時間が流れているのがよくわかるので、タイムマシンで昔の人が今に来たら多分驚くと思います。ああこういう使われ方をしている、とてもいいと思います。

次は、レオイさんの「自分達らしく寛ぎみ愉しむ……」。これも私がとても好きな作品ですが、二階の個室を隣にある神社の景色を借景にして出窓風のコーナーを作っている。個室がプライベートからパブリックに広がっていくというイメージで外につながる。これは何のリフォームにも繋がってくるのですね。だから外だけでなく中だけでもないという繋がりを一つ作ってあげるという事ですね。

もう一つは、最も勇気をもらったリフォームと書いたのですが喜多ハウジング(株)の減災リフォームの作品です。「豪雪の被害から安全を考える」。豪雪で家が倒壊の

危機で、ある部分を思い切って減築して切り離れた作品です。もともとあったオエという24cm角の柱で立っているところを、そこだけは守るぞというリフォームですね。

その発想がなかなかできないのですが先人の知恵を見事に残した。その場所についてしっかり考えている。そして最も大事なのは、住み継ぐ意味を問いかけているような部分ですね。

まとめると住み手にとって特別なもの、これは時間軸です。関係性ということでは、今と昔をつなぐこととなりますね。ドクターリフォームサンセイの作品は築20年だけど、その20年前のハウスメーカーの技術を作品の意匠に出しているとい



審査委員 江口恵津子氏

う事です。そういうことを考えてみると何か住み手と繋がるデザインが出てくるのではないかと、そんな印象を持ちました。

江口 上杉先生が言われていたように、ほんとうに今年は、エポックメイキングみたいな感じがします。いままでは、

お仕着せのパターンを「はい、どうぞ」という形でやって、ただ美しいということで評価されることが多かったと思いますが、今回は、施工側の提案力の凄さであったりとかの色々な強さが入りこんで、このきめ細かな難しい問題を、どんどん突破していくような、そんな力をつけたみなさんの作品が多くなり、それが賞を取ったというような印象を受けました。

先ほどから「エシカル」という話もありましたが、エシカルというのは倫理的なとか、多くの人が正しいと思うような一つの議論みたいなのところの意味です。ちょっと固いのですが、「やはりこれが本当だよ」というところがエシカルという事だと思います。例えば衣食住の衣の方では洋服に関して、ものすごくエシカルが進んでいます。地球の裏側の綿花畑で女の子たちが学校へも行けないくらい労働をさせられている。農業も大変使っているので二十歳になる前に多くの若い女性が亡くなってしまふ。そんな状況から綿製品ができていたことを私たちは知らないわけです。そして知らないままに素材を選んでしまふという事が、罪というより悪を助長していることになってしまう。それで本当に心の安らぎを得られるものになるのでしょうか、という問題です。

衣食はこうしたことに厳しくなっている。しかし住だけがいつまでも遅れている。私たちの仕事というのは川上と川下の間にありますから、私は、先ほど玉井先

生が言われたSDGsの12番の作る責任、使う責任、選ぶ責任というところに注目しているのですが、やはり出所のしっかりしたものをちゃんと選んでご提案していこう、でもエシカルという価値も高くなるかもしれないけれど、お客様がエシカル商品を選べるよう提供していくことも必要ではないかと思っています。それは商品だけではなくて、暮らし方や提案・設計力の中に入ってくるものではないかと思っていますが、今回そういうストーリーを本当にたくさんの作品の中で見させていただくことができました。印象に残る作品もあるので述べたいと思います。

個室部門の土屋ホームトピアの作品「対立から……」というすごい長いタイトルの作品です。リフォームなん

て必要ないというお父様とか、趣味をしたいお母様とか、いろいろな意見対立がある中で、「一つに家をつなぎたい、時代をつなげて行きたい」という思いがあって、それに対して大変な提案力を持って色々な事をしながら、最後にみんないいところで収まったというような作品だったように思います。

これは私が今お話をしたような事をすべて包んでいるエシカルな素敵ナリフォームではないのかなと思います。大賞ではありませんけれども、これからの時代と合っていますし、またご担当の方にはご苦労様と言いたい。これからもどんどん素晴らしい作品を、暮らしを導いて行って頂けたらと思います。

□ビジネスモデル部門

「何かをリフォームにつなげる」新しいモデルが必要



審査委員長 坂本雄三氏

坂本 受賞された方々おめでとうございます。

講評という事ですが、こういう審査は私は初めてだったのですが、私の感想を申し上げます。

住宅建築のリフォームという建材とか設備とかをいかに取り替

えるかとかの話になると思いますが、リフォームのビジネスという、それ以外にも色々なことがあるのだなあと、いろいろな提案を見て私自身非常に勉強になりました。

残念ながら今回賞には入らなかったのですが、例えば一時的な引っ越しのために家財道具等を預かるサービスをインターネットのマッチングサイトでやるとか、そういう奇想天外なといった言い過ぎですが、私なんかのようなものにはとても創造のつかない提案もありました。また設備とか建材等の誤発注等で抱えた在庫などをリフォーム用に再流通させるビジネスをやっている方もあり、いろいろ勉強になりました。

受賞は五件あるのですが、これらはそういう意味じゃ割合までも普通に想像できるビジネスだと思います。

経済産業大臣賞を授賞したキッチンワークスさんのポイントは、木工場を傘下にして使うとお客さんに対する細かい対応が出来るようになって非常に実績を上げたということです。もちろん将来性、波及性、大いに期待できる所かなと思います。経済産業省製造産業局長賞を受賞した「住宅先端技術……」は、技術的に面白い床下の

点検診断ロボットです。木造住宅の技術をやっているものにとって、床下というのは非常に興味のあるところで、リフォームでも非常にポイントになるところです。でも、なかなか安くて性能のいい診断の道具がない。私はつくばの研究所にもいましたが、あそこでもこういう開発をやってましたが残念ながら実用化までいってない。それを実用化したという事で、これは技術的に大きなブレークスルーになるのではないかと期待しています。同じ局長賞のSFA ジャパンさん。これは圧送ポンプを利用した増設用のトイレの販売という事で、日本だけでなく世界的に実績を上げているという事です。高齢社会になりますとトイレの増設の場面に多くの皆さんがぶち当たっていると思います。これは社会的貢献テーマですね。

それから、ジェルコ会長賞のオクタさんは、中古物件の購入アドバイスからリフォームまでのワンストップサービスです。似たようなことは先ほどの作品賞の中にもあったと思いますが、やはり、中古物件ですとどういふものを買ってどういふリフォームができるか、そのあたりを一貫して一気通貫でやるという事は非常にポイントになることです。この辺の将来性、波及性が十分あるのではないかと思います。同じく会長賞のテオリアハウスクリニックさんは、シロアリの駆除なんですけど、このシロアリ駆除とブランド化という対立しがちなものを両立すべく、果敢に取り組んでいる。すでに女性社員の確保、そして育成という事で、実績を上げているという事で評価した次第です。

奥田 審査員を三年やって来て、感じたことを申し上げます。一つは、こんなやり方があったのか、こんなもので商売になるのというような凄いアイデアがこんな



審査委員 奥田慶一郎氏

にも出てきた。やはりびっくりしました。

そのなかで、例えばビッグアイさんのデザイン部門で「猫とルンバ」というのがありました。亭主にいくら言ってもルンバを買ってこないけど、猫のためにはルンバを買ってくれるというものです。猫がいると抜け

毛がいっぱい出るので、掃除をちゃんとしなければいけない、だからルンバで抜け毛の掃除をするから、そのためにリフォームをする。非常に面白いコンセプトで、実はビジネス部門にも応募しておられました。本当にびっくりします。ビックリしたんですが、それがリフォームに繋がってますかというのを審査員は考えてしまうのです。リフォームコンテストなのでね。アイデアは素晴らしい。でも実際にリフォームにつながっていないものを我々選んでいいんだろうかということで、今年はビッグアイさんは選ばれてないのです。何かこうやってリフォームにつなげましたというのが来年出てきたら、ぜひ考えなければいけないなと思っています。

二点目は、そのように何かをリフォームにつなげてくださいという事です。

しかし、そういった良いアイデアがあっても、それを大々的に世の中に知ってもらうということでは、こうしたコンテストだけではなく、何か皆さんに知っていただく方法を考えなければいけないなと思います。

例えば日本建材・住宅設備産業協会にカタラボいうカタログのデータベースがあり、最新のカタログが二十四万ページ入っている。ただ最新の商品を探せるのですが、こうしたサービスというものがまだない。建材でも設備でもないのだからカタログ的に扱われていない。これをどうするかは我々の課題でもあるのですが、是非ジェルコさんで、そういういいアイデアを、どうしたら会員の皆さんに知って頂けるか知恵を絞っていただければと思います。

安達 私は今住宅産業に限らずあらゆる産業について産業構造がどういう風に変化していくか、その中で新事業をどうしたらいいかということの研究したり発表したりしております。そういう視点から、今回のビジネスモデルの入賞作品五つの位置づけについて話したいと思います。

ここ数年、産業構造の変化でお話ししているのは人口動態インパクト、デジタルインストラクション、デジタルの技術の進歩ですね、あとはサステナビリティ、

これはエネルギーやSDGsでもあります。それらがあらゆる産業に非常に大きなインパクトを与えているということです。

そういう目で見ますと、今回の五作品というのはちょうどそれに当てはまると感じています。ジェルコ会長賞のテオリアハウスクリニックとオクタの作品は、最初の人口動態インパクトです。人口動態インパクトというのは、日本の人口はこの百年間で急に四倍になって次の百年で半分になる。今後は人が足りなくなっていくから、なんかしようとしても職人も少なくなっていく。テオリアさんは職人不足に対応するための策だと思っています。生産年齢人口が減る中で、住宅分野にいかにか優秀な人を来てもらえるか。そういうところで素晴らしいことをやっていると思います。

オクタさんは、これは家が余るのでマッチングですね。人を介在させることによって、中古住宅購入者にア



審査委員 安達功氏

ドバイスをするという事です。この二つは人口動態インパクトに即したビジネスモデルです。

経済産業省製造産業局長賞のSFA ジャパンさんとモーグルの二つはテクノロジーですね。IoT × AIというのは、ニアリーイコール、ロボットなんです。モーグルとい

うのは床下点検ロボットとそれを使う仕組みを認定制度として作ろうとしている。まさにテクノロジーです。SFA ジャパンさんもそうです。圧送技術という他にないテクノロジーです。震災の年に導入して色々アジャストしながら今に至るとい、地道に続けてきているところ評価できました。

大臣賞のキッチンワークスさんは、サステナビリティですね。新しいビジネスモデルを作るときの特徴というのは、ゼロからではなくあるものとあるものを組み合わせるところがポイントなんです。非常にシンプルなんですが、リフォームとオーダー家具を組み合わせた。そういう組み合わせがあったか。コロンプスの卵で、やったあとではそれはあるじゃんと思うのですが、なかなか発想できないものです。実績も伸ばしているところが素晴らしいと思います。

私もコンテストの審査をするときにヒアリングもするのですが、非常に刺激になります。このノウハウというのはできるだけ共有して、皆さんも新しいモデルをどんどん作っていただきたいと思います。

今回受賞したみなさん、本当におめでとうございます。非常にヒントを受ける審査でした。

ジェルコリフォーム コンテスト 2019

デザイン部門 審査講評

(全国部門別優秀賞と全国特別賞の講評。ジェルコ会長賞から全国部門別最優秀賞は巻頭のカラーページに掲載)

■全国部門別優秀賞

とちぎリフォーム(株)

戸建部門／「終の棲家 とちぎ蔵の町見世蔵リノベーション」

〔講評〕由緒ある店を閉めるという辛い決断を、このリノベーションは希望に変えてくれた。リノベの持つ力は無限大である。見世蔵を土間として残しながら、生活動線の整理、風通し、梁の見せ方などうまい。インテリアが秀逸。



株安藤嘉助商店

戸建部門／「暮らしに、カフェライフを」

〔講評〕築100年の古民家改修の外観とは思えないほどの変り映えは、受け継いだ者の意志を感じます。モダンと古(いにしえ)が見事に混在したインテリアも秀逸です。古民家ならではの続き土間をカフェに開放する「住み開き」プランも良く考えられています。



株安藤嘉助商店

戸建部門／「心地よい光を使った古民家再生」

〔講評〕古民家の構造に心地よく包まれるイメージは、シンプルな素材の組み合わせ



わせの中で暮らしてこそ、充実されるのではないかとの思いを強く感じました。時を経た構造素材そのものに跳ね返る光を感じられる作品です。ひとつの吹き抜けの効果には目を見張るものがあります。

西日本ホーム(株)

戸建部門／「おもてなしのリゾート古民家」

〔講評〕地域の伝統的な古民家(築150年)を残すための大幅な減築と改修。離れが日常の住居なので、こちらは来客や子供家族の帰郷時にリゾート的に使うが、施主は陶器ギャラリーを設け客の接待が楽しくなった。古材の生きた空間になった。



株タカノホーム

戸建部門／『育てる家づくり』

〔講評〕既存一般的な木造住宅からの現代の住まい方への変換事例はとても参考になります。機能性と空間の心地よさは、フリースペースまでひとまとめにした三角デッキの提案によるところが大きいでしょう。外観からも見て取れる過去を残した、素(す)のデザインは秀逸です。



株オノヤ

マンション部門／「これから生まれてくる家族に想いを馳せてつくる暮らし」

〔講評〕SRC特有の制約のある箱型の部



屋を、素材の変化、インテリアデザインで、よくぞここまで美しい空間に仕上げた。デザイン力が秀でている。キッチンデザインとステップフロアー、格子デザイン、特に天井、照明の使い方、全て秀逸。

株ナサホーム

マンション部門／「家族みんなが暮らしやすい!回遊できる家」

〔講評〕丁寧な寸法調整でマンションでの回遊動線の実現を果たしています。キッチンから玄関まで通過できるサブ動線は素晴らしい一言。おかげでスッキリとしたLDKを獲得できています。作り付けのテーブルの設え、木部、タイル、スチールワークの映える快適なデザインです。



株オノヤ

リビングダイニング部門／「おじい様の思いをつなぐ家」

〔講評〕今まで目に触れていなかった小屋組みを意匠に現すことは、職人であったおじい様にはさぞ喜ばしいことでしょう。時代を纏って暮らすことの心地よさを知るリフォームです。木部に負けないタイル、照明等の存在感が一体となって住まいのデザインを支えています。



無垢スタイル建築設計(株)

リビングダイニング部門／「心地良い陽を浴びて」

〔講評〕大人数で集まれる広くて快適なリビングが施主の要望。1, 2階を含めての改修と思われるが、応募案は2階部分。陽当りの良い廊下をリビングに取り込むという発想と、LDKの床を下げるという発想のミスマッチ？が新しい空間を生んだ。



ホームテック(株)エントリエ
リビングダイニング部門／「KAGU映え」
〔講評〕コストパフォーマンスの良いリフォーム。施主の思いを実現し、インテリアショップのようなセンスの良い空間に。お手持ちの家具や小物たちが生き返り、植栽もふんだんで、ポタニカルガーデンのような空間は素敵です。



レオイ(株)
リビングダイニング部門／「満ち足りた時を刻む」
〔講評〕既存を活かしたうまいリフォーム。生活動線も良くなり断熱性能も向上し、快適な住まいになった。自然素材の選び方、使い方、間接照明のデザインなど、とても慣れていて、温かなインテリアは、既存部分との取り合いにも配慮が行き届いている。



アイシン開発(株)「アイシンリプラン」
キッチン部門／「雑貨店の思い出を大切に、既設を活かしたリフォーム」
〔講評〕お店のようなインテリアが実現した住み手に添うリフォームです。生活空間のほぼ中央にアイランドキッチン配したプランは特殊に感じますが、コン

ロ横の独立壁がメリハリと落ち着きを成立させています。抜けのある心地よい空間性が評価されました。



(株)土屋ホームトピア
サニタリー部門／「35cmが生む洗面脱衣室の快適性～寒冷地の洗濯物事情～」
〔講評〕地域の気候風土とランドリー空間のあり方の提案。寒冷地では年間を通じて室内干しが多い。そのため、洗濯作業のしやすさ(洗面・脱衣との関係)、リビングでの物干し、アイロンかけ、収納の在り方に渡る解決が必要。洗面も快適になった。



(株)OKUTA
サニタリー部門／「アクセスフリー！ノンストップ！ノンストレス！」
〔講評〕空間の持つ隠れた魅力を余すところなく活かしている。サニタリーのパズルはアイデア満載。内窓、WICの通り道、洗面台のデザインなど楽しい空間。毎日ワクワク楽しくなる幸せの間取り。キッチンも見たい気がする。



(株)匠工房
サニタリー部門／「Luxury for all」
〔講評〕孫のためと言いつつも子供に媚びない落ち着いた意匠は好感が持てます。色味を変えながらも統一されたデザインの2つのトイレは気分を入れ替えるための格好の居場所になりそうです。十

分な明るさによってさらに清潔感も獲得できています。



(株)土屋ホームトピア
個室部門／「『対立』から『譲り合い』へ。」調整型”家族融和リフォーム”
〔講評〕設計者の人間力に感服。施工の仕方や材料に詳しいのでこのような調整が可能になったのだろう。家族の要望の落とし所を見つけ、将来につなげた素晴らしいリフォーム。壊すことなく持続再生できたことは地球環境にも貢献している。清潔感のあるインテリアも美しい。



レオイ(株)
個室部門／「自分達らしく寛ぎ愉しむ～大人の秘密基地～」
〔講評〕2階に計画されたパブリックなスペースを「ライブラリー」と位置づける発想。近隣の神社の林を借景とするピクチャウインドゥ周りを出窓ベンチとし、デザインをエクステリア寄りに扱うことで個性的な離れの居場所を獲得しています。



アズインテリアデザイン／(株)鶴見装備
外まわり部門／「愛犬用プールのある住まい」
〔講評〕庭に張り出した三角形部分の増築と、斜めラインを手がかりとしてまとめられたエクステリアは間延びすることなく、距離感を生み出しています。既存

住宅との繋がり、素材の選択と一体感が生み出すデザインは、平坦敷地でありながら立体感の演出にも繋がっています。



(株)マエダハウジング

玄関・ホール／「築80年一家族とゲストを迎える2つのアプローチ」

〔講評〕家族とゲストの完全分離アプローチを実現。古民家特有の迫力のある玄関を再現せず、機能を充実させながら繊細に分割した手法は秀逸です。丁寧なデザインで古民家の構造体を空間に取り入れたことも、単に機能リフォームのみでは無い快適な居場所の提案に繋がっています。



(株)東急Re・デザイン

新人賞／「凹形でつくる『日あたりの良いシンプル和モダンの家』」

〔講評〕凹型の減築によって生まれた隣地との距離は、室内に明るさをもたらし、各室のコーナーから見える景色は広がりを生み出しています。コストのかかる大胆な減築改装ですが、それに見合う大きな効果が生まれています。



■全国特別賞

喜多ハウジング(株)

カムバック賞／「減災リフォーム～豪雪被害の経験から安全を考える～」

〔講評〕災害後の住まいをいかに考える

か、今回、最も勇気をもらった事例。思い切った減築は築115年の暮らしを守るための選択。先人の知恵「オエ」の構造体を手がかりになされた再建とも言える改修は「住み継ぐ」という意味を根本からの問いかけているようです。



(株)土屋ホームトピア

リボーン2019賞／「門扉を撤去したら優しいアーチが出迎えてくれる家になりました。」

〔講評〕生まれ変わった我が家という意味で突出した作品。門扉を撤去し外に開く家は、街並みも美しく変える原動力になる反面、防犯も考慮し、雪対策も備え、機能性の中にデザイン性が光っている。



山商リフォームサービス(株)

コンパクトデザイン賞／「家族が集う、インダストリアルなLDK」

〔講評〕こぢんまりとした住宅ですが、パブリックなスペースを2階へと移動したことによって既存空間を隅々まで感じる住まいになっています。コンパクトながら居場所と距離感の快適さを上手くデザインできています。特に、吹き抜けのように扱った階段の位置は秀逸です。



(株)フレッシュハウス

オールブラック賞／「隠れ家～光と風のコントロール～」

〔講評〕既存からのデザインの変わり様は驚くべきものがあります。光をコントロールする素材が空間の多様性を作り出しているようです。特に、天井に採用した消失するブラック色は水平方向に広がりのある住空間性を生み出しています。まとまりのある空間が評価されました。



(株)タカノホーム

プランニング賞／『HARAPPA CABIN』

〔講評〕外部に繋がる幾つかのバッファゾーンが計画の肝となっています。余剰とも言える空間の存在が外部との繋がりを生み、グラデーションのある暮らしを実現できそうです。エクステリアの画像が無いのが残念ですが、プランの上手さとシンプルなデザインが評価されました。



喜多ハウジング(株)

アフターコンバージョン賞／「コンバージョン後もコンバージョン」

〔講評〕老朽化したアパートの見事な再生。ファイナンシャルプランナーのように施主のアフター人生を見据えた提案力。自宅を売却してまでこのアパートの



コンバージョンにかけた施主の決意とそれをしっかりと受け止めた設計力に頭が下がる。信頼関係あつての成功である。

㈱土屋ホームトピア

子育て支援賞／「風が吹き抜ける子育て空間 7年間、子供達と楽しく暮らすための家」

〔講評〕コンセプトがしっかりしている。子供にとっての7年は大きい。その人間形成期を我慢するのではなく、積極的に暮らすためのリフォーム。素晴らしい親の決断に設計者は見事に答えた。安心、安全、そして成長する家。素敵な家族にエール！



とちぎリフォーム㈱

努力賞／「減築してシアワセになるリノベーション」

〔講評〕増改築を繰り返し、耐震性のほとんどない住宅を、減築と新しい外観デザインにより、多様な難題（雨漏り解消・暑さ寒さ・バリアフリー・収納増・通風採光・プライバシー確保・メンテナンス費減少）に取り組んだもの。平面図が見えにくいのが難点。



喜多ハウジング㈱

レトロモダン賞／「ここは明治村??～「朝ドラ」の世界観を我が家に～」

〔講評〕無駄のない設計。減築して安心安全で快適な住まいに変身。廊下を無くし、斜めにレトロなガラス引違いを設置したのが、デザイン性をより高めている。サニタリーとお母様の部屋の配置も申し分ない。しっかりと穏やかな時間が流れる空間。



㈱ビッグアイアトリエョーコ設計デザインチーム

設計デザイン賞／「猫とルンバが走れるLDK - 珍しさより実用的で安らぐ暮らしへ」

〔講評〕応募者の自宅の改修。ステップフロアの不便さを解消して広々としたLDKを実現。できあがったインテリアも中々良く、美しい。床が全体に下がった分、天井高が高く、快適な気積となった。猫もルンバも喜んでいるだろう。

小塚さん 「FCとVCの経験をジェルコで活かしたい」 津布久さん 「事務局としてしっかりがんばりたい」

LIXIL から小塚英司さん

ジェルコビジョン 2030 の実現に向かって日々活動しているジェルコ本部事務局。懸案となっている務局機能の強化を進めてきたが、新たに10月から小塚英司さんが加わった。

小塚さんは、(株)LIXIL リフォーム事業部の新規事業推進室部長だった方で、ジェルコのために出向していただいた。経歴を伺うとご出身は愛知県一宮市のご出身で、関西の大学を卒業後INAXに入社。横浜の支店に10年ほどいた後、本部でリフォーム部門の立ち上げに携わり、大阪の所長時代は、事務所の向かいが近畿ハイムだったこともあり、ジェルコ近畿支部にも参加、アフタージェルコ（飲み会）などを通じて支部会員と親しく交流してきた。ジェルコの人だけでなくこれまでの活動もよく知る人である。

小塚さんに自己紹介かたがた、今のジェルコの感想などを聞いた。

「当時、ジェルコの近畿支部の方々とお付き合いをさせてもらって、本当に勉強させていただきました。物売りしかできなかった私でしたが、営業のインセンティブはどうしているかとか、人をどう採っているかとか、リフォームの経営者の本当の悩みだとか知ることができました。そういう言う意味で私にとって馴染み深く、今回ジェルコに来たもの縁があったことだと思っています。

そんなわけで事務局に入りましたが、ジェルコの歴史を知っている昔からのお知り合いもありますし、私も自由に発言して色々な方の意見を聞きたいと思っています。それで、新しく良いものが作れて行けたらいいなと思いますね。

また、ジェルコはボトムアップで進むといういいところがありますが、事務局に入って思うことは、もう少しガバナンス利かせた本部にした方がいいなと思いますね。事務局に入って少しの経験ですが、見ていますと支部と本部のやっていることの方角性があっていないと感じるところもあります。支部が自由にやるところと本部がガバナンスを利かせるところの両方がある、ぶつかり合い意見を言い合うことは良いことだと思います。そういう事へのお役立ちになればいいかなと思います。

それから私はリクシルで二つ良い経験をさせてもらいました。一つはリクシルリフォームショップという500社のフランチャイズ、もう一つは、一万社くらいのボランタリーチェーンのリフォームネットと、FCとVCの責任者をさせてもらった。ジェルコの組織とは違う良いところも悪いところもあるのですが、どういうパターンで何をしたらいいのかとい



うことでは、共通点があるのでそうした経験を活かしたいなと思います。

ジェルコでしたいことは、会員数を600社くらいまでは持ってきてたいと思います。団体の力として数は凄く大事です。何とか少しでも力になりたいと思います」

趣味は、6、7年前から山登りにはまっている。年に10回くらい登るとのこと。高校時代は野球、大学時代はボクシング、フェザー級で兵庫県大会では優勝したことがあるというスポーツマンだ。家族は、娘二人、「家に帰ればアウエー」と笑う。昭和四十二年生まれ、52歳。

小西さんの後任に津布久知代さん

長年ジェルコの事務局で活躍してきた小西里香さんの後任として、新たに津布久知代さんが入った。津布久（つぶく）という珍しい苗字。ネットで調べてみると全国8146位、1000人程度しかないとか。栃木県南部が本拠地で出身も栃木市だか、これはご主人の苗字・出身で、ご本人の知代さんは東京都文京区の湯島だそうで、チャキチャキの江戸っ子だ。「子供のころは湯島天神が遊び場だった。罰当たりなこともしたかも」とにこやかに話す。学校で三菱銀行に就職したというから、バリバリ仕事をするタイプという、「性格はのんびりとしています。昔茶道をやっていた、また機会があればやりたいと思っていますが、なかなかできませんね。食いしん坊なので、お茶より和菓子かな」と、またニコニコ。またジェルコのような団体の仕事は初めて。

ジェルコの感想等を聞くと、

「会員の皆さんは明るいですね。アットホームな感じがしますし、良い方々だと思いますね。

事務局としてきちりと仕事をしていきたいと思っています。皆様にご迷惑をおかけしないようにやっていきたいと思っています。よろしく願いいたします」



● 10月以降、過半数が悪化と回答

● 今回のエコポイントも会員の取り組みもう一つ

2020年がいよいよ始まりました。消費税10%の影響が各分野で現れてきており、住宅・リフォーム分野でも今後の景気減速が心配されます。そのため国では様々な経済対策を進めていますが、住宅分野では「次世代住宅エコポイント」もその一つです。ポイント発行件数は12月末時点で新築・リフォームあわせて累計約7万戸、166億ポイントで、利用に加速度がつかない状況で、来年3月末の締め切り期限までどれくらい利用が進むのか、消費税増税後の消費者、事業者の動きが気になるところです。そこで今回のアンケートでは、消費税10%の影響とジェルコ会員でのエコポイントの取り扱いなどについて聞いてみました。

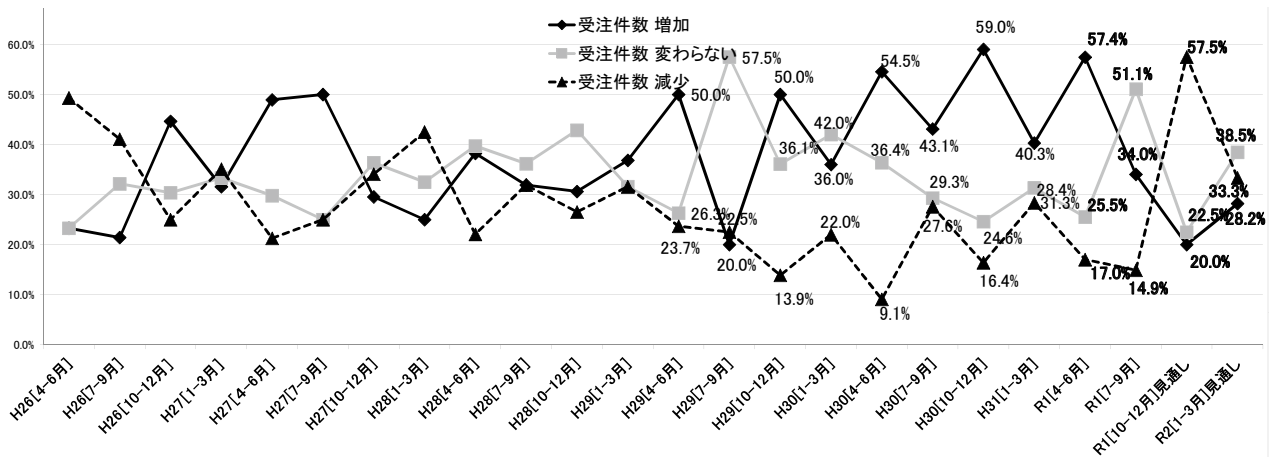
今回は40社からご回答を頂きました。ご協力感謝いたします。今年もこの欄のアンケートへのご協力をお願いします。

1、会員企業の年商、社員数などについて

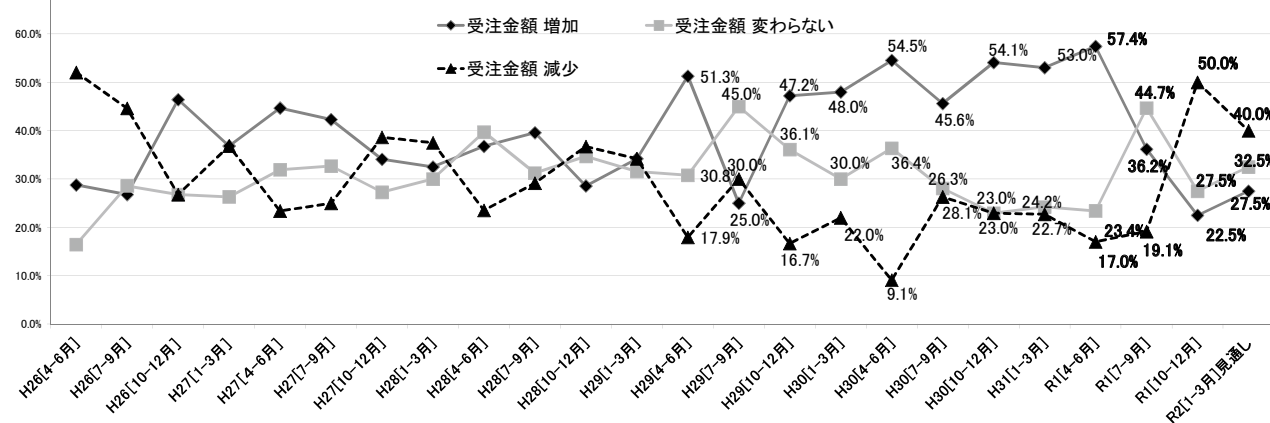
今回は消費税10%がスタートして3か月が経過。会員企業の動向が気になるところで、今年1月はじめに調査した。毎行っている基本事項の会員企業の社員数、売上高、平均粗利益率等については次のである。

従業員数では平均で男性が10.7人（前回11.8人）、女性が6.0人（前回7.8人）。年間売上高は

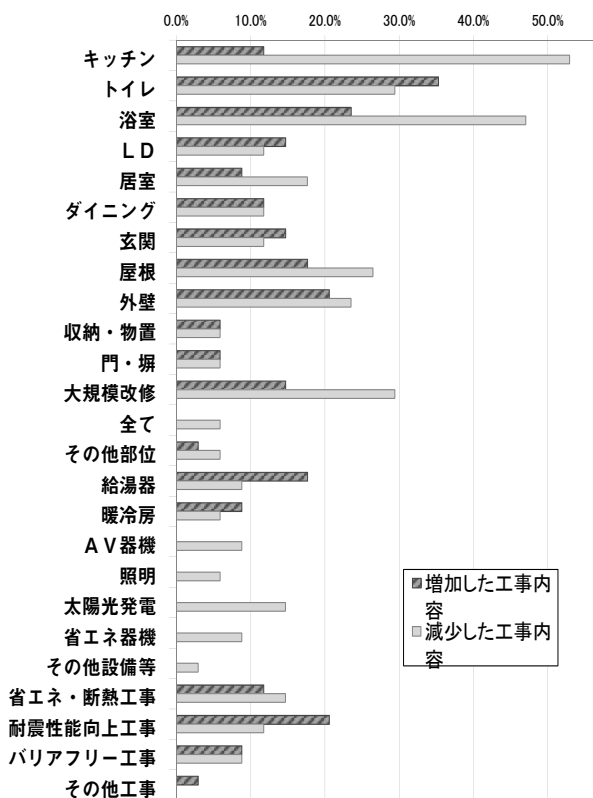
四半期毎の受注推移（件数）



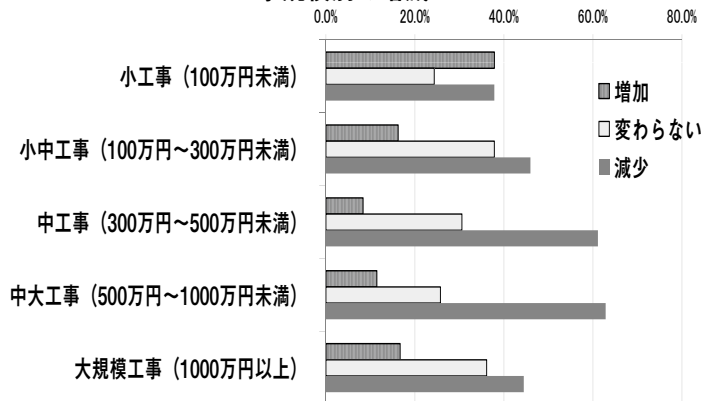
四半期毎の受注推移（金額）



[10-12月] 期に増減した工事内容



工事規模別の増減



3. 増加、減少した工事内容

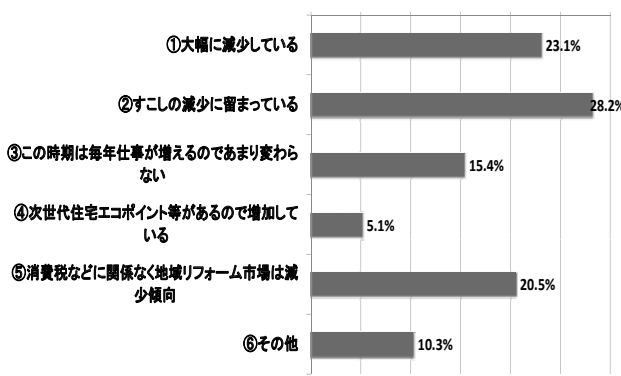
[10-12月] 期の「増加」・「減少」した工事内容では、「キッチン」「浴室」「大規模改修」が減少が増加を大きく超えた。その他の部位でも減少が上回る結果となった。

4. 消費税 10%の影響は

前回の調査では、10月消費税10%がスタートしたばかりだったで、駆け込み需要について聞いたが、今回はその後の実績、消費者の動きなどを聞いてみた。まず10月以降の受注状況では、「大幅に減少」が23.1%、「少しの減少」が28.2%で半数以上が減少と回答した。減少の幅について聞くと「20%以上」が25%、「10%程度」が39.3%と半数以上が大幅な落ち込みとなった。駆け込み需要の時と同じく、どの部位だったかを聞く「大規模改修」が47.1%でトップ。ついで「トイレ・キッチン等の水廻り」35.3%だった。

消費税10%への顧客の反応、対応では「全体的な買い控え」が35.1%と最も多かった。ついで

10月以降の受注状況



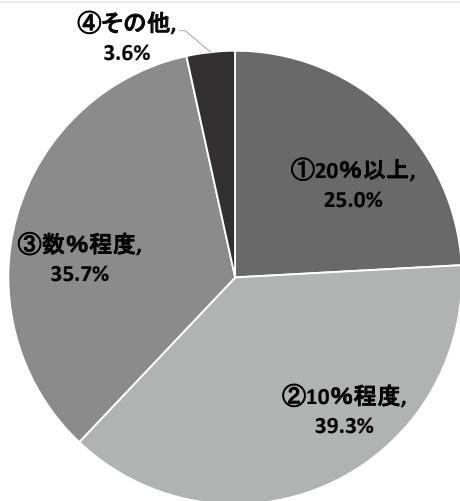
平均で3億2,059万円（前回7億2,075万円）。平均粗利益率は27.5%（前回27.2%）であった。平均粗利益率は前回に比べ若干上回った。売上高の中央値は2億円と、前回の2億3,500万円を下回った。最頻値でも2億円、平均粗利益率は、28%、30%と前回の調査と同じであった。受注傾向では、前期[10-12月]の実績が、消費税増税の影響が如実に現れた格好で、予想より大幅に下回る結果となり、半数以上が件数、金額で悪化と回答している。

2. 会員各社の景況感について

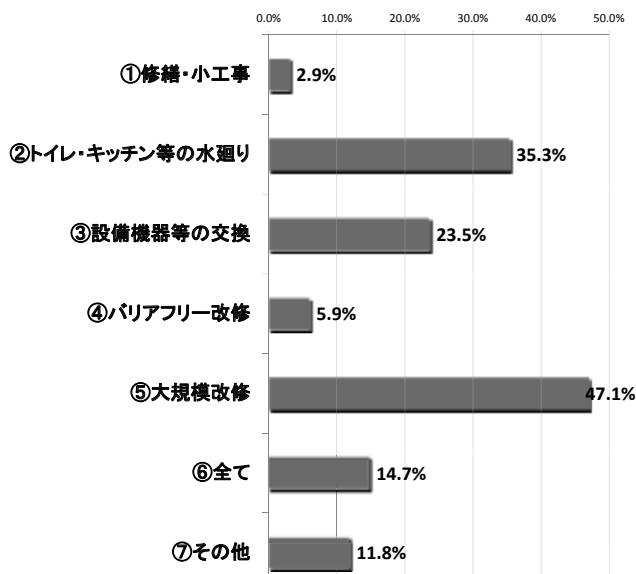
第4四半期[10-12月]期の実績と今年第1四半期[1-3月]期の見通しでは、昨年[10-12月]期の実績は、やはり消費税増税の影響がはっきりと現れる形となり、受注件数、受注金額共に「減少」したとする会員が5割以上、「変わらない」、「増加」がともに2割台となった。

今年の[1-3月]期の見通しでは、受注金額で「減少」とする会員会社が40%と一番多かった。消費税増税の影響が続くとみているよう。

10月以降の減少幅はどれくらいか



減少したリフォーム部位は



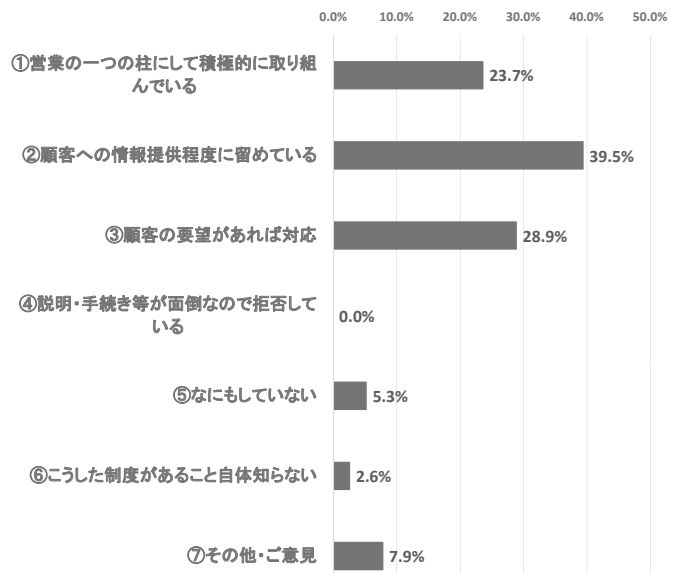
「リフォーム部位の縮小、仕様ダウン」で、顧客の財布のひもがかなり固くなった感じである。

5. 次世代住宅エコポイントの活用は

こうし消費者マインドの冷え込みをカバーするため「次世代住宅エコポイント」が実施されているが、ジェルコ会員での活用状況を聞いた。まずエコポイントへの対応では、「積極的に取り組んでいる」との回答は23.7%、最も多かったのは「顧客への情報提供程度」で4割あった。また何件くらいの利用があったかでは「9～5件」「4～2件」合わせて5割を超え、ゼロ件も3割近くあった。どのように営業対応しているかでは、「メーカー等のキャンペーンで対応」が41.7%と最も多かった。

なかなかリフォームでエコポイントの利用が進

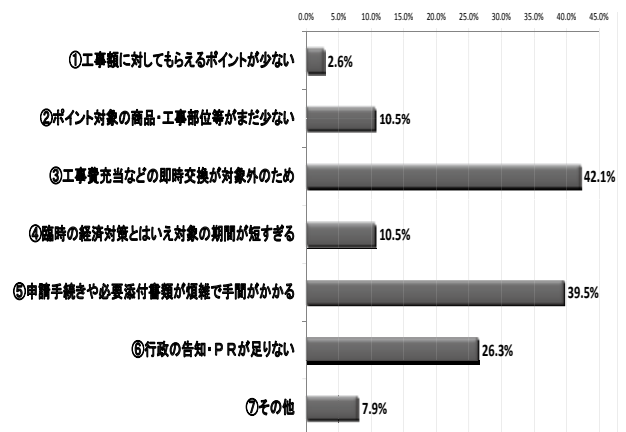
今回のエコポイントの会員活用状況



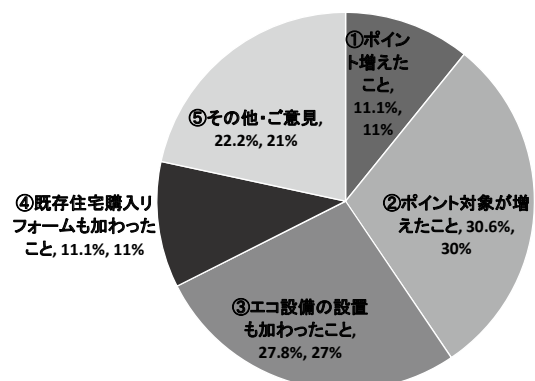
まない理由としては、「工事費充当などの即時交換が対象外」であるためとする人が42.1%と最も多く、ついで「申請手続きや必要添付書類が煩雑」とする回答も4割近くあった。

逆に今回のエコポイントで良かったところでは、「ポイント対象が増えた」「エコ設備が追加」が多かった。

リフォームでエコポイントの利用が進まない理由



今回のエコポイントで良かったところ



◆北海道支部

【会員増強】

10月3日、1種会員の勧誘（住まいのクワザワ、ジョンソンホームズ）を実施した。

【例会&セミナー】

11月5日、リンナイ北海道支店会議室にて支部例会および、性能向上セミナーを開催し、25名が参加。夕部副会長と北海道大学・羽山教授のダブル講師でオシャレリフォームと性能向上の健康効果について学んだ。

【増改築相談員研修会】

11月16日、札幌市内にて増改築相談員研修会を開催した。

【コンテスト審査会】

12月3日、札幌市内にて北海道支部のリフォームコンテスト審査会を開催した。

【忘年会】

12月17日、札幌市内にて北海道支部の忘年会を開催した。

【イベント】

3月8日、札幌市内にてジェルコ春のリフォームフェアを開催予定。

◆東北支部

【役員会】

11月26日、仙台のLIXIL東北支社会議室にて支部役員会を開催。支部長改選に伴う次期支部長に関する件、事務局選出の件を検討し、次期支部長を決定した。また、コンテスト表彰式に関する件を検討し、1月28日に実施することで決定した。

【表彰式&セミナー】

1月28日、仙台的住友生命仙台中央ビル（SS30）にてリフォームと民法改正セミナー&断熱リフォームセミナーを開催する予定。

◆関東甲信越支部

【ブロック会】

10月21日、イサカホームにて茨城ブロック会を開催した。

【審査会】

10月24日、ジェルコ会議室にてリフォームコンテスト2019 デザイン部門 関東甲信越支部の審査会を実施。審査の結果、入賞は14作品が選出され、そのうち6点の優秀賞の中から1点が最優秀賞として1月30日の表彰式会場にて発表する予定。

【委員会】

10月29日、ソーゴー本社特別会議室にて第6回体制整備委員会を開催した。

【増改築相談員研修会】

10月30日、TOTO千葉ショールームにて増改築相談員研修会（新規・更新）を開催した。

【役員会&委員会】

11月7日、伊藤忠建材会議室にて第5回役員会および、第1回広報渉外委員会を開催した。

【ブロック長会議】

11月18日、ワイドアルミにて第3回ブロック長会議を開催した。

【ブロック会】

11月27日、リフォームワンショールーム会議室にて長野・山梨ブロック会が開催され、高橋正憲氏を講師に招いたセミナーが開催された。

【委員会&ジャンヌダルクの会】

11月28日、(株)ユニマットリック Ric Park Tokyoにて第7回体制整備委員会および、第23回ジャンヌダルクの会を開催した。

【ブロック会】

12月9日、LIXILショールーム東京にて東京ブロック会を開催。前半は無償で出来る求人サービスの紹介が行われたほか、年間の有効求人数や現

状の求人業界の概要、求人実施の際に有効なアバターや特性への配慮などについて説明した。後半はLIXIL住まいStudioの見学を行った。

【ブロック会】

12月10日、(株)中央ベニヤ会議室にて山梨ブロック会を開催した。

【ブロック会】

12月26日、LIXIL高崎ショールームにて群馬ブロック会を開催した。

【役員会】

1月9日、大和ハウス工業(株)会議室にて第7回役員会を開催した。

【ブロック会】

1月15日、ホテルザ・ノット・ヨコハマにて神奈川ブロック会を開催した。

【委員会】

1月20日、デイトレーディング会議室にて第9回体制整備委員会を開催した。

【ブロック会&セミナー】

1月23日、山梨県宅地建物不動産会館にて山梨ブロック会による増強セミナーを開催する予定。

【ブロック会&セミナー】

1月29日、三協立山(株)新潟支店にて新潟ブロック会を開催する。

◆中部北陸支部

【役員会&表彰式】

10月1日、名古屋の昭和ビルにて開催されたあいち住まいるフェア幹事会に事務局が参加した。

【役員会&セミナー】

10月29日、クリナップ名古屋ショールームにて中部北陸支部役員会及び、(株)益田建設の鈴木強氏を講師に招いて耐震セミナーを開催した。

【イベント】

11月16日から17日の二日間に渡り開催されたあいち住まいるフェアに委員として参加した。

【役員会&審査会】

12月12日、TOTO名古屋ショールームにて中部支部役員会および、デザインコンテスト表彰式を開催した。

◆近畿支部

【交流会】

11月6日、丹波篠山にて女性交流会を開催。4名が参加した。

【表彰式】

12月12日、TDY大阪コラボレーションショールームにてリフォームコンテスト表彰式を開催。受賞者の発表のほか、基調講演も行った。

◆中国四国支部

【役員会】

11月8日、岡山国際交流センターにて第2回役員会を開催した。

【リフォームコンテスト】

11月13日、広島市内にてリフォームコンテスト中国四国支部大会を開催。審査委員長挨拶及び審査方法の説明を行った。なお、同支部では11月12日から30日まで各社がWeb投票を行い、中国四国支部の入賞作品を決定した。

【増改築相談員研修会】

12月4日、松山市民会館にて増改築相談員研修会(新規・更新)を開催した。

【役員会&ブロック会】

12月5日、松山市内にて第3回役員会および、第11期四国ブロック会を開催。「中古物件とリフォーム業者」をテーマとしたセミナーを開催した。

【リフォームコンテスト】

1月15日、広島グランドインテリジェントホテルにてリフォームコンテスト2019中国四国支部大会を開催した。

【増改築相談員研修会】

1月22日、広島オフィスセンターにて増改築相談員研修会(新規・更新)を開催する予定。

◆九州支部

【役員会&表彰式】

11月28日、ザライブリ福岡にて九州支部役員会および、ジェルコデザイン&セールスコンテスト2019の表彰式を開催した。また、整理収納コンサル

タントの里館友子氏を講師に招いた基調講演も行われた。

【役員会&セミナー】

12月12日、アイカ工業(株)にて九州支部役員会を開催。また、関東甲信越支部の望月支部長を講師に招き「エクステリアのコツのコツ」と題したセミナーも開催された。

【役員会&定例会】

1月16日、TKP ガーデンシティ博多アネックスにて役員会および、定例会を開催した。

◆沖繩支部

【定例会】

10月25日、沖繩支部定例会を開催。九州支部と

の交流会や各委員会報告・メーカーからのお知らせなどを行った。

【定例会】

11月26日、沖繩支部定例会を開催。委員会報告や来期の事務局について話し合ったほか、サニマイト福里社長によるシロアリ防徐セミナーを行った。

【イベント】

11月28日、九州支部との合同コンテスト表彰式に中本支部長、高良副支部長、(有)建水のほか入賞企業3名が参加した。

【役員会】

1月9日、役員会議（中本、高良、喜屋武）を開催。来期活動計画の打合せを行った。

新入会員紹介

2019年12月27日現在（11月から12月の入会、6社）

タカラ産業株式会社

代表取締役 河本義登 さん

岡山県津山市 第1種会員



株式会社関西工務店

代表取締役社長 吉田泰造 さん

奈良県大和高田市 第1種会員



ウィークエンドハウス株式会社

代表取締役 山本秀将 さん

大阪府枚方市 第1種会員



カナモリ産業株式会社

取締役 川田浩代 さん

埼玉県北足立郡 第1種会員



Good News (株)

代表取締役 北川裕樹 さん

東京都渋谷区 第4種会員



一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会

会長 林柳江 さん

東京都新宿区 特別会員



新入会員からのメッセージ

お取引先や友人に多くのジェルコ会員がおられ、事ある毎にお誘い頂き、また、恐縮ながらセミナーの非才な講師として、九州支部や本部にもお邪魔させて頂き、皆様方のリフォームに対する熱い思いや、共に学ぶ仲間意識の強さに感銘を受けました。

タカラ産業(株) 代表取締役 河本義登

ハウスメーカーの施工店という立場で40年、大型建築物の施工を含めると60年間奈良で育ててもらいました。住宅リフォームの依頼が増え空き家解消にも積極的に踏み込むために、信頼のできる工事店さんがたくさん加盟しているJERCOに登録することを決めました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

(株)関西工務店 代表取締役社長 吉田泰造

度々セミナーに参加させていただき会員さんたちの熱い志を体感させていただいておりました。よりレベルアップしたいと思い入会いたしました。皆さんよろしくお願いいたします。

ウィークエンドハウス(株) 代表取締役 山本秀将

昭和 56 年より水道管本官工事をメインにしてまいりましたが、近年「水回り専門のリフォーム工事店」として地域の皆様にお声がけいただけるよう、取り組んでいるところです。皆様方の取り組み等学ばせていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

カナモリ産業(株) 取締役 川田浩代

情報取得目的で入会する事を決めました。IT 技術を活用してリフォーム会社を支援していく予定です。エンドユーザーとクライアントとの情報の非対称性がまだまだあるので、リフォームのプラットフォーマーとして課題を解消し、リフォーム業界を良くしたいと考えております。

Good News(株) 代表取締役 北川裕樹

この度は特別会員に迎えて頂き有難うございます。リフォームは私たち IC 期待の分野です。皆様と交流を深め、ご指導をいただきながら、JERCO の一員として“インテリアから発想するリフォーム”を求めていきたいと思えます。会員一同、どうぞよろしくお願いいたします。

(一社) 日本インテリアコーディネーター協会 会長 林柳江

■ ジェルコ支部所在地 ■

北海道支部事務局 (株)北海道住宅新聞社

〒 001-0029 北海道札幌市北区北 29 条西 4-2-1-201

Tel:011-299-1334 Fax:011-717-1770

東北支部事務局

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F

Tel:03-5541-6051 Fax:03-5541-0128

関東甲信越支部事務局

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F

Tel:03-5541-6051 Fax:03-5541-0128

中部北陸支部事務局 (株)リビング春日井

〒 486-0807 愛知県春日井市大手町 3-14-13

Tel:0568-82-8717 Fax:0568-82-8723

近畿支部事務局 (有)ミオ・デザイン

〒 657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町 1-5-20

Tel:078-801-2537 Fax:078-801-2538

中国四国支部事務局 (株)やまもと住研

〒 737-0823 広島県呉市海岸 1-4-3

Tel:0823-25-7404 Fax:0823-25-7404

九州支部事務局 B's Plan

〒 820-0004 福岡県飯塚市新立岩 2-13

Tel:0948-22-2929 Fax:0948-52-6470

沖縄支部事務局 (株)おきなわ浄環技建

〒 904-0004 沖縄県沖縄市八重島 2-13-9

Tel:098-939-3915 Fax:098-939-3916



Heart of Jerco

リフォームで

家が変わると暮らしが変わる



一般社団法人
日本住宅リフォーム産業協会

**JERCO
REPORT**
No.282

発行日 2020年 1月 (創刊 1985年 1月)
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F
TEL : 03-5541-6050 FAX : 03-5541-0127 URL : <http://www.jerco.or.jp>
年間購読料 一部 / 500円 (税込)